

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
73207	2	後期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	臨床看護援助論Ⅱ（慢性期） (Clinical NursingⅡ: Chronic Illness Care)				
担当教員名	阿部 恭子／新井 麻紀子／藤巻 郁朗／伊能 美和				
授業の概要及び到達目標					
〔授業概要〕 病とともに生きる慢性期の状態にある人を全人的に理解し、セルフマネジメント能力を引き出すための援助の実際を学ぶ。生活過程を整えながら社会生活を営み、セルフコントロールするための学習支援に必要となる基礎的な看護実践能力を身につける。 〔到達目標〕 ①健康障害が慢性的・長期的経過をたどる人のセルフケア、リハビリテーションを支える看護のあり方、援助方法を理解する。 ②健康障害が慢性的・長期的経過をたどる人の身体機能障害の捉え方と、必要な看護の導き方を理解する。 ③慢性疾患をもって生きる人の包括的理解にむけた病みの軌跡理論の理解とその活用について理解できる。 ④長期にわたり療養生活を支える継続支援の方法（外来看護・退院支援）について理解する。					
準 備 学 習 等					
特に、病態生理学、治療学総論、疾病治療論Ⅰ～Ⅲの履修内容を復習しておくこと。					
成績評価の方法	【ミニレポート】15 回×1 点 （配点 15 点）（提出が無い場合は欠席とみなす） 【レポート課題】 2 回 （配点 25 点） 【試験】授業終了後（配点 60 点） 授業の 3 分の 1 以上の欠席、レポート 2 種未提出者は試験受験資格なし				
テキスト	・日本糖尿病学会、「糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版」、日本糖尿病協会・文光堂，2013 ・鈴木久美他編，「成人看護学 慢性期看護」改訂第 2 版，南江堂，2015				

参考図書	疾病治療論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで指定されたテキスト 吉田澄恵他,「ナーシング・グラフィカ 成人看護学②健康危機状況／セルフケアの再獲得」, メディカ出版, 2017 酒井郁子他,「リハビリテーション看護」, 南江堂, 2015
備考	本科目の単位取得は、臨床看護学実習（急性期・慢性期）の前提条件になっている。 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。
授 業 計 画	
I.慢性疾患看護概論 第1回：導入：臨床看護援助論Ⅱ（慢性期）の目的、科目構成 慢性疾患の動向とケアニーズ 第2回：慢性疾患をもつ人の病みの軌跡と援助課題 第3回：リハビリテーション看護概論 第4回：がん看護概論 第5回：慢性疾患をもつ人の身体機能障害の捉え方と看護 II. 慢性疾患患者の看護 第6回：生活調整を必要とする患者の看護 ① 第7回：生活調整を必要とする患者の看護 ② 第8回：リハビリテーションを必要とする患者の看護 ① 第9回：リハビリテーションを必要とする患者の看護 ② 第10回：難病患者の理解と看護 第11回：がん患者のニーズと看護 ① 第12回：がん患者のニーズと看護 ② III. 慢性疾患看護におけるケア技術 第13回：慢性疾患患者の継続支援（退院支援/外来看護） 第14回：慢性疾患と共に生きる人へのセルフケア支援技術① 第15回：慢性疾患と共に生きる人へのセルフケア支援技術②	